



# せたがや区議会だより

No.221

平成21年(2009年)7月18日  
発行 世田谷区議会

〒154-8504 世田谷区世田谷4-21-27  
TEL (5432) 1111代表 FAX (5432) 3030  
http://www.city.setagaya.tokyo.jp/kugikai/

## 防犯カメラの設置・運用条例などを可決 第2回 定例会



次大夫堀公園での田植えの様子

### 議決内容

議決された案件の概要をご紹介します。今回の定例会には、区長から22件、議員から1件の案件が提出され、すべて原案どおり可決しました。また、後期高齢者医療広域連合議員候補者の推薦も行いました。

●21年度補正予算  
1件  
○一般会計(第一次)  
(全員賛成)

補正後の予算額は二四二二億七六八万八千円

●条例の新設  
2件  
○大蔵第二運動場条例  
(全員賛成)

大蔵第二運動場(大蔵4-7-1)の設置。

○防犯カメラの設置・運用条例  
(全員賛成)

防犯カメラの適正な設置及び運用を推進するために必要な事項を規定。

●条例の改正  
6件  
○区税条例

賛成多数 賛成〃良、公明、民主、生、政策、社、民、区、民、虹、世田谷、無所属、反対〃共産、無党派

地方税法などの改正に伴う住宅借入金等特別税額控除の創設など。

○国民健康保険条例  
(全員賛成)

出産育児一時金に関する経過措置を定めることなど。

○敬老会館条例  
(全員賛成)

松原敬老会館及び成城高齢者集会所の廃止。

○斜面地における建築物制限条例  
(全員賛成)

地階に住戸を有する建築物の居室の制限などを規定。

○地区計画区域内の建築物制限条例  
(賛成多数 賛成〃良、公明、民主、共産、生、政策、社、民、区、民、虹、世田谷、無所属、反対〃無党派)

旭小学校周辺地区地区整備計画区域の追加など。

○自転車条例  
(全員賛成)

下高井戸西自転車等駐車場(赤堤4-42-15)の新設。

●包括外部監査契約の締結  
1件  
(全員賛成)

相手方〃山下康彦(公認会計士) 契約金額〃六九万五二〇〇円を上限とする額

●工事請負契約の締結  
10件  
○京西小学校改築工事  
(全員賛成)

工事名	相手方・契約金額
改築	大明・小俣建設共同企業体 一七億六八二〇万円
電気設備	大雄・原川建設共同企業体 二億五五一五万円
空気調和設備	杉山・ヤオキ建設共同企業体 二億八六六五万円
給排水衛生設備	福吉・三水建設共同企業体 一億九六六万五千円

工事概要〃鉄骨鉄筋コンクリート造一部鉄筋コンクリート造・鉄骨造 地上4階建(特別支援学級、職員室2、教育相談室、BOP室2、普通教室18など)

工事名	相手方・契約金額
改築	関東・カトウ建設共同企業体 一五億五〇八五万円
電気設備	旭・成電工建設共同企業体 二億四三六〇万円
空気調和設備	大立・杉田建設共同企業体 二億九四〇〇万円
給排水衛生設備	大橋・秋田建設共同企業体 一億八六九〇万円

公職選挙法の規定により、議員の寄附行為や時候のあいさつなどは禁止されています。

〈6ページへ続く〉

# 代 表 質 問

自由民主党世田谷区議団

山内 彰議員

さらなる緊急経済対策の実施

**質問** 先日発行されたプレミアム付区内共通商品券は、大好評だったと聞く。より多くの区民が購入できる販売方法の工夫を働きかけるとともに、追加発行を支援せよ。  
**副区長** まずは商店街の意向や意見などを聞いて検討する。

選挙管理委員の報酬のあり方

**質問** 選挙管理委員の報酬のあり方は、第三者機関で職務の実態を把握した上で客観的かつ慎重に検討し、その結果を踏まえて判断すべきだ。区はどう取り組むのか。  
**区長** 特別職報酬等審議会などの意見をもちょう準備を指示した。

適正な事務執行への教育長の決意

**質問** 20年度の中学校給食費会計に支出の超過があったことは誠に遺憾であり、再発防止に向けた取り組みと適正な事務執行の実施を強く求める。教育長の見解を示せ。  
**教育長** 二度と起こさない決意で、適正な事務執行に全力で取り組む。

予防型行政の一層の推進

**質問** 災害や犯罪などから区民を守るため、区の危機管理能力を高めるべきだ。あらゆる場面を想定して全庁的な業務の再点検を行い、予防型行政を一層推進せよ。  
**区長** 安心して住み続けられる世田谷の実現に向け全力で取り組む。

環境基本計画の見直し

**質問** 区は21年度中に環境基本計画を見直す予定だ。計画策定時とは激変している地球環境や社会状況とこれまでの区の見直しを踏まえ、将来を展望する計画とせよ。  
**副区長** 社会状況の変化などを踏まえ、低炭素社会の実現を目指す。

太陽光発電装置設置助成数の拡大

**質問** 住宅用太陽光発電システム機器の設置費助成は、わずか2週間で予定数が満杯になったと聞く。助成数をふやし、家庭でのCO<sub>2</sub>削減に向けた取り組みを一層促進せよ。

環境対策室長 国の経済対策などを踏まえ支援のあり方を検討する。

区民とともに進めるごみの減量

**質問** ごみの分別区分の変更を区民に浸透させるための区のみめ細かな対応を評価する。今後も区の方針性を明確に示し、区民の理解と協力を得てごみの減量を進めよ。  
**清掃ラサニ部長** 今後も区民や事業者と連携した取り組みに努める。

区民にわかりやすいリサイクル

**質問** 区はプラスチックのリサイクル品目を今後拡大すると聞く。区民が混乱しないよう十分配慮し、ごみの発生抑制やごみの減量に向けた行動の促進にも取り組め。  
**清掃ラサニ部長** 今後もわかりやすさに配慮しリサイクルを進める。

在宅子育て支援の充実

**質問** 多様化する保育需要にこたえるには、保育施設の整備に加え、在宅子育て支援の充実も重要だ。策定予定の後期子ども計画に保育のシニアの考え方も盛り込め。  
**区長** 子育てしやすいまちの実現に向け総合的な政策展開を目指す。

都市の自然を生かした取り組み

**質問** 世田谷が誇る豊かな自然環境を生かした取り組みを一層進めるべきだ。自然に恵まれた多摩川流域をレクリエーション資源として活用し、区の魅力向上を図れ。  
**副区長** 地域住民や関係機関と連携し、世田谷の魅力向上に努める。

からぼりつきマンションへの対応

**質問** からぼりつきマンション建設に伴う近隣紛争や市街地環境の悪化などへの対応が急務だ。斜面地における建築物制限条例の改正に伴う今後の区の見直しを示せ。  
**都市整備部長** 円滑に執行するため一定の周知期間の後に施行する。

教科日本語の全国展開への見解

**質問** 国は区の教科日本語の取り組みを全国に広げていくのにふさわしいものと評価し、全国の自治体で実施できるように位置づけた。このことに対する区の見解を示せ。  
**教育長** 全国に先駆けて進めたことへの評価のあらわれだと考える。

公明党世田谷区議団

飯塚 和道議員

区内共通商品券の販売方法の工夫

**質問** プレミアム付区内共通商品券は地域経済活性化の強力な推進手段だ。次回の発行に向け、販売時間の見直しなど区民が購入しやすい販売方法の工夫を働きかけよ。  
**副区長** 7月4日の土曜日の販売を目指し、調整していると聞く。

エスコートゾーンの設置推進

**質問** だれもが安心して生活できる環境整備が重要だ。横断歩道上で視覚障害者を誘導するエスコートゾーンの設置を積極的に進めよ。  
**交通政策部長** 道路管理者として、交通管理者である警察と協議する。

高齢者実態把握調査の活用

**質問** 高齢者実態把握調査の実施を評価する。調査結果を活用し、これまで要望してきた全地区における高齢者の見守りネットワークの体制づくりを一層進めよ。  
**副区長** 21年度内を目途に、調査結果を踏まえた検証を行う。

梅ヶ丘病院跡地利用への働きかけ

**質問** 都の条例が改正され、梅ヶ丘病院跡地利用への区民のさらなる取り組みが期待される。保健医療福祉の拠点として活用できるように、区長が先頭に立ち都へ働きかけよ。  
**副区長** 調査研究の結果などを踏まえ、区長判断のもと進めていく。

がん検診の受診率向上

**質問** がん対策の推進は最重要課題だ。がん検診受診率向上のため、国が補正予算で行う支援策に合わせ、区も休日や夜間の検診実施や受診場所の拡充などに取り組め。  
**保健所長** 検診の重要性の啓発や、受診の利便性向上などに努める。

保育サービス待機児の解消

**質問** 依然として多い保育待機児の解消は喫緊の課題だ。区は、安心子ども基金を活用して保育サービス施設整備の強化に取り組むとしたが、具体的にどう進めるのか。  
**区長** 2年間での約2000人分の受入

梓拡大など、取り組みを強化する。

第3子以降への支援の充実

**質問** 出生率の向上に向け、第3子以降への支援を充実すべきだ。国の政策も注視し、我が党が主張する就学前教育費無料化に向けて、第3子の保育料軽減策を拡充せよ。  
**子ども部長** 国の政策により一部世帯の第3子保育料は無料となる。

スポーツの世田谷の充実

**質問** 平成22年には、東京厚生年金スポーツセンターが区立のスポーツセンターとして生まれ変わる。区立となることに伴う利用者のメリットと運営上の課題を示せ。  
**スポーツ振興部長** 一部の使用料を下げるが、独自の運営展開が課題だ。

きずなづくりから始める教育改革

**質問** 真の教育改革は、教師と児童生徒が互いに学び合うためのきずなづくりから始まる。区は、学ぶ楽しさに導く授業づくりと教職員の専門性の向上に取り組め。  
**教育長** 教育環境の充実と教職員の専門性向上を図り改革を進める。

世田谷区議会民主党

すがや やすし議員

保育待機児の受入枠の拡充

**質問** 区は保育待機児の受入枠を拡充してきたが、いまだに待機児は多い。区立校の余裕教室や区有地を活用して保育施設を整備せよ。  
**区長** 2年間で受入枠を約2000人分拡大する計画をとりまとめた。

ベビシッター利用への支援

**質問** 保育施設の整備に加え、夜間保育などの多様な保育ニーズにこたえる施策も充実すべきだ。保育が必要な際にベビシッターを気軽に利用できる仕組みをつくれ。  
**子ども部長** 今後も利用者の立場に立ったきめ細かな支援に努める。

二子玉川再開発での公共施設整備

**質問** 二子玉川再開発には莫大な税金が投入されているにもかかわらず、公共的要素が少ないとの地域住民の声がある。用途が未定の区画に公共性の高い施設をつくれ。

拠点整備部長 関係機関と連携し、事業者と協議や調整を進める。

住民の権利保護に配慮した条例

**質問** 斜面地における建築物制限条例の改正で既存不適格となる一部の地下室マンションの住民は不安を感じている。住民の権利が損なわれない旨を条例に明文化せよ。  
**都市整備部長** 条例での明文化ではなく特例許可の適用で対応する。

医療と介護サービスの充実

**質問** 介護型療養病床の段階的な廃止で、未届け老人ホームに入らざるを得ない高齢者がいる。公有地への民間病院の誘致などにより、医療と介護サービスを充実せよ。  
**区長** 福祉と医療の連携で高齢者を支える仕組みの構築に尽力する。

学力向上策の一層の推進

**質問** 一層の学力向上を望む子どもへの意欲にこたえるべきだ。学校単位で行っている放課後を活用した学力向上策に区として取り組め。  
**教育長** 世田谷9年教育の取り組みの中で、さらに検討を進める。

日本共産党世田谷区議団

中里 光夫議員

オバマ大統領の核廃絶演説の評価

**質問** オバマ大統領の演説後、世界で核兵器廃絶への動きが大きくなる中、来年国連で行われるNPT再検討会議に区は代表を派遣すべきだ。区長の認識を示せ。  
**区長** 核廃絶の機運が盛り上がる中、出席可否かの検討を進める。

受診抑制を招く保険証の取り上げ

**質問** 国保料を滞納している世帯が医療費10割を払えるはずがない。医療機関の受診を抑制し、新型インフルエンザの感染拡大にもつながる保険証の取り上げはやめよ。  
**保健福祉部長** 被保険者間の負担の公平性確保などに取り組む。

中小企業への融資制度の拡充

**質問** 区内中小企業の経営は依然として厳しく、緊急特別小口融資あっせん制度の拡充を求める声は多い。据え置き期間を3年に、返

済期間を10年にそれぞれ延長せよ。

産業政策部長 国や都の取り組みを見つつ、必要に応じて対応する。

商店にも魅力ある商品券の発行を

**質問** プレミアム付区内共通商品券を商店街の一層の活性化につながるべきだ。換金手数料を区が負担するなど商店にもメリットのある工夫をして追加発行を支援せよ。  
**産業政策部長** 各商店街の課題解決への取り組みが重要だと考える。

街路灯電灯料への補助の充実

**質問** 商店街の街路灯はにぎわい創出に有効だが、電灯料が商店街の大きな負担となっている。区の補助はあるが基準が低いため、電灯料への補助を一層充実せよ。  
**産業政策部長** 20年度に街路灯の維持経費への補助を拡充した。

保育待機児解消への緊急対応

**質問** 600人もの保育待機児が生じている状況を区は深刻に受けとめ、待機児解消に全力を挙げるべきだ。年度内での緊急な保育施設の整備に向け、あらゆる手法を追求せよ。  
**副区長** 7月に区立中の敷地を活用した認可園の分園が開設される。

認可保育園の大量増設を

**質問** 区内の子どもの数がふえていくが、来年拡大する保育定員は現待機児数にも満たない。抜本的対策として認可園を大量増設せよ。  
**子ども部長** 認可園の分園整備を基本に保育施設整備に主力を注ぐ。給付する火災警報器の種類の充実

区が給付する火災警報器は

相互連動しないため、高齢者や障害者が別の部屋で鳴った警報に気づかず逃げおくれる心配がある。連動型の給付なども検討せよ。  
**地域福祉部長** 給付機種以外には自己負担での設置をお願いしている。

二子玉川再開発都市計画見直しを

**質問** 工事が進むにつれ、超高層ビルや人工地盤など環境破壊が現実の問題となってきた。採算性への危機感も膨らんでいる。都市計画を変更し、IIa街区を見直せ。  
**生活拠点部長** 事業を円滑に進めるよう事業者を強く指導する。



代表質問、一般質問の模様をホームページで生中継・録画中継しています。  
<http://www.city.setagaya.tokyo.jp/kugikai/>  
**議会中継**をクリック！

6月9日及び10日の本会議で、6名の議員がそれぞれの会派を代表して質問を行いました。その一部を要約してお伝えします。

生活者ネットワーク世田谷区議団

竹村 津絵議員

**時代のニーズに合った公共事業**

**質問** 鉄道連立化や外環道整備など、今後区内でも大規模事業が進んでいく。自然環境が守られ、地域や時代の価値観に合った事業となるよう国や都に働きかけよ。

**区長** 引き続き必要な要請を行い、区民の目線で公共事業を進める。

**地域医療福祉の体制整備**

**質問** 高齢者の在宅介護を支える地域ケアの体制整備が不十分だ。医療機関や民間関係者と連携した地域医療福祉体制を早急に整えよ。

**保健福祉部長** 福祉と医療の連携を強化する取り組みを一層進める。

**子育て・子育て支援の充実**

**質問** 区は保育待機解消に努めているが、保育サービスの量だけに政策の主眼を置いてはならない。最善の子育ち環境をつくる理念を持ち、子育て支援策を展開せよ。

**区長** 子どもが夢と希望を持てるよう質の高いサービスを実現する。

**区の不登校対策の私立校への周知**

**質問** 区の子どもの多くが私立校に通う今、いじめや不登校への対応を私立校にも行うべきだ。区は教育相談などの取り組みを私立校の子どもや保護者にも周知せよ。

**教育政策部長** 区の広報媒体を活用し、支援策を広く周知する。

**環境基本計画の見直しの視点**

**質問** 環境への配慮はすべての施策の基本となる重要な要素だ。区が進める環境基本計画の見直しでは、環境の視点を重視したまちづくりや交通政策の展開を盛り込め。環境対策室長 必要に応じて環境の視点で整理していく。

**希望丘不燃ごみ中継所の活用方法**

**質問** 廃止される希望丘不燃ごみ中継所を容器包装プラスチックの中間処理施設に転用すべきだ。中継所活用の今後の見直しを示せ。

**清掃課長** 中継所の活用方針について、今秋までに検討する。

せたがや政策会議

田中 優子議員

**区財政の悪化に伴う計画の見直し**

**質問** 経済危機の影響で税収が減り、区財政が悪化することは明らかだ。こうした状況の中、区の計画の見直しなどはあるのか。

**区長** 実施計画などの見直しを視野に入れ、全庁的な方針を示す。

**パンデミック時の情報提供**

**質問** 新型インフルエンザの大流行時には、エフエム世田谷を活用し、区民に正確な情報を迅速に提供すべきだ。区の対策本部からの放送や24時間体制の対応は可能か。

**政策経営部長** 通常の放送時間外の放送や割り込み放送が可能だ。

**洪水被害の軽減策の推進**

**質問** 国は、洪水時に迅速に避難できるよう、町なかに浸水に関する情報を表示するまるとまこととハザードマップの整備を推奨している。区は積極的に取り組み、危機管理室長 地権者への影響などを踏まえ、今後研究する。

**砧公園の地下への火葬場の建設**

**質問** 強毒性の新型インフルエンザが蔓延した場合、臨海部広域斎場の火葬施設で対応できないほどの死者が出るのが想定される。砧公園の地下に火葬場を建設せよ。

**生活文化部長** 設置に当たってのさまざまな課題を整理する。

**梅ヶ丘病院跡地への区施設の移転**

**質問** 区は都立梅ヶ丘病院跡地への北沢保健福祉センターなどの移転の可能性を示した。移転事業費を約32億円とした積算根拠を示せ。

**政策経営部長** 経費は、想定面積と想定単価から計算した。

**梅ヶ丘病院跡地における施設整備**

**質問** 都立梅ヶ丘病院跡地利用の調査研究は、民間活力の導入の視点を重視し過ぎている。不況で民間による施設整備の見通しが立たない場合の全体計画を示せ。

**副区長** 事業者が安定的に運営できるように事業手法などを研究する。

# 一般質問

6月10日及び11日の本会議では、30名の議員が区政をめぐる諸課題について質問を行いました。その一部を要約してお伝えします。

## 会派名等

- 自民 自由民主党世田谷区議団
- 公明 公明党世田谷区議団
- 民主 世田谷区議会民主党
- 共産 日本共産党世田谷区議団
- 生ネ 生活者ネットワーク世田谷区議団
- 政策 せたがや政策会議
- 社民 社会民主党世田谷区議団
- 無党派 無党派市民
- 区民 区民の会
- 虹 虹レインボー世田谷
- 世田谷 世田谷無所属の会
- 無所属 無所属

## 本文中で使用している省略表記

- 環境対策室長 環境総合対策室長
- 交通政策部長 交通政策担当部長
- 保健所長 世田谷保健所長
- スポーツ振興部長 スポーツ振興担当部長
- 拠点整備部長 生活拠点整備担当部長
- 支所 総合支所

羽田 圭一議員(社民)

**セーフティネットの充実**

**質問** 雇いどめや解雇により、労働者が仕事と同時に住居も失う事態が生じている。再就職に向けた支援や臨時的な住居の提供など、セーフティネットを充実せよ。

**答弁** 引き続き、国や都の動向を踏まえつつ種々の施策を展開する。

**母子世帯への自立支援策**

**質問** 国は生活保護の母子加算を打ち切った。母子世帯の生活環境は依然として厳しい状況にある実態を踏まえ、区としてきめ細やかな自立支援策を講じよ。

**答弁** 引き続き、子育てや就学、就労などの支援を行う。

**河川の汚染防止策の周知徹底**

**質問** 洗濯や洗車などの際の生活排水が側溝を通じて河川へ流れ込むことがある。河川の汚染を防ぐため、生活排水の適切な処理方法などを区民に周知徹底せよ。

**答弁** パンフレットに加え、区のおしらせなどで広く周知する。

平塚 敬二議員(公明)

**肺炎球菌ワクチン予防接種の普及**

**質問** 肺炎球菌による高齢者の肺炎にはワクチンの予防接種が最も効果があると言われているが、費用が高いため接種率が低い。予防接種の普及に向け費用を助成せよ。

**答弁** 肺炎球菌ワクチンの効果は認識しており、検討課題とする。

**太陽光発電の設置促進**

**質問** 住宅用太陽光発電システム機器の設置は、環境面だけではなく災害時のライフラインの切断時においても有効だ。設置促進に向け、設置費用の助成件数をふやせ。

**答弁** 区の財政及び国や都の動向を見きわめつつ、対応を検討する。

**区立校への校庭芝生化のPR**

**質問** 区立校に校庭の芝生化をPRするには、子どもたちが芝生に触れ、よさを実感することが有効だ。校庭を芝生化した区立校での体験学習などの機会をふやせ。

**答弁** 芝生化した学校を見学してもらうことなどによりPRを行う。

鈴木 昌一議員(自民)

**二子玉川の位置づけ**

**質問** 二子玉川は、大山街道や多摩川の特性を生かし、人々が集まるまちとして、自然環境と調和しながら発展してきた。区は二子玉川をどのようにとらえているのか。

**答弁** にぎわいの拠点や地域生活の拠点として位置づけられている。

**二子玉川のまちづくりの基本方針**

**質問** 17年の議会で、再開発を踏まえ二子玉川全体のまちづくりを考えるべきだと提起し、区は再開発が進む中でビジョンを策定した。今後の取り組みの考え方を示せ。

**答弁** 区民が地域に根づいて住み続けられるまちなどを目指す。

**二子玉川のまちづくりの支援**

**質問** 再開発が進み転入者がふえる二子玉川で区民主体のまちづくりを進めるには、住民が同じまちに住むという意識を持つことが大切だ。区の支援の視点を示せ。

**答弁** 文化や交流などの多岐にわたる視点で支援する。

山本 きょう子議員(生ネ)

**高齢者向け住宅施策について**

**質問** 深刻化する高齢者の住まい不足への対策が急務。区内最大規模の都営下馬団地建てかえに当たっては、特養やケアハウス、小規模多機能の併設を都へ働きかけよ。

**答弁** 高齢社会に対応した施設や住宅などの整備を都に要請する。

**高齢者の新しい住まい方について**

**質問** 高齢者が地域で自立して生活できる住宅の確保に力を注ぐべきだ。既存の戸建て住宅を高齢者向け住宅に活用するなど、住宅確保の新しい手法を検討せよ。

**答弁** 戸建て住宅を活用した新たな住まいについて検討する。

**女性特有のがんの検診受診率向上**

**質問** 区では女性特有のがん検診受診率が全国平均を大きく下回っている。受診票の送付回数や受診率向上に積極的に取り組む。

**答弁** 個別勧奨する機会をふやすなどの改善に取り組む。

六戸のりお議員(自 民) スポーツ施設実態調査の活用

質問 84万の人口規模に見合うスポーツの場の確保には、企業や大学などの連携が重要だ。スポーツ施設の実態調査を着実に進め、民間施設などとの連携を強化せよ。

答弁 調査結果を民間施設などとの連携や活用につなげる。

ひうち 優子議員(世田谷) ネズミ被害の防止策

質問 京王線連立事業が進み、沿線の多くの家屋が解体された場合、ネズミが周辺一体に拡散するおそれがある。ネズミ被害の防止に向けた区の対策の方針を示せ。

答弁 関係部署が連携し、事業実施の際の対応を事業者に依頼する。

区内消費者トラブル情報の一元化

質問 消費者庁の発足に伴い、消費者事故などの情報を国に通知する義務が区に課せられる。迅速に対応できるように、区内の情報を一元化する体制づくりに取り組み。

答弁 関係部署が連携し、一元的に情報を集約する体制を築く。

火災警報器のあっせん機種拡充

質問 火災時の逃げおくれを防ぐには、住人や各世帯の居住環境に合った火災警報器の設置が有効だ。区があっせんする警報器に連動型を導入するなど機種の拡充を図れ。

答弁 今後、あっせん用品を見直す中で検討していく。

村田 義則議員(共 産) 高齢者向け住宅の整備の推進

質問 高齢者の住宅不足が深刻な問題だ。健康で文化的な住生活の維持を条例で掲げた区として、特に低所得高齢者が困窮している実態をとらえ、住宅整備に取り組み。

答弁 公的住宅整備と民間市場活用施策を一体的に推進する。

高齢者向け住宅整備への区の認識

質問 高齢者向け住宅の深刻な不足を受け、区議会では会派を超えて住宅整備を再三要望してきたが、区は同じ答弁に終始している。区民の声をどう受けとめているのか。

答弁 議会からの要請を真摯に受けとめ、住まい確保に努めている。

せたがやの家の維持

質問 高齢者の住宅確保策の一つとしてせたがやの家が果たしてきた役割は大きい。厳しい経営状況にあるオーナーが多い。区はこの制度の維持に最大限努力せよ。

答弁 世田谷トラストまじづくりと協力し、最大限努力する。

小畑 敏雄議員(自 民) 外環道整備計画名が複雑な理由

質問 5月に決定した外環道の世田谷・練馬区間の整備計画は、関越道を中央道まで、中央道を東名道までそれぞれ延伸する2つの整備計画で構成されており、区民に迅速かつ着実な事業推進への理解を求める上でわかりにくい。このように複雑になった経緯を示せ。

答弁 外環道とは通称名であり、都心の放射状に延びる高速道路を反時計回りにつなぐ路線である。

外環道整備区域の住民への支援

質問 東名ジャンクション整備予定区域には工業や商業を営む区民も多く、移転先で事業が継続できなくなるなど多くの不安を抱えている。地権者の生活再建を支援するため、代替地として砦農協跡地の確保を国に求めることや移転先の用途地域の変更などに区として取り組み。

答弁 代替地のあっせんや情報提供など、地権者に誠意を持って対応するよう事業者に働きかける。

佐藤 弘人議員(公 明) 小水力発電の導入

質問 環境に配慮した発電方法が注目されている。豪雨対策基本方針素案で掲げた雨水を活かすまじづくりの視点に立ち、小型水車で発電できる小水力発電を導入せよ。

答弁 環境と土木の分野が連携し、設置の可能性を検討する。

地下空間の積極的な活用

質問 過密化する都市部では、地下空間の活用が一層重要となる。地下空間の積極的な活用に向け、関係部署が連携を図り、総合的かつ長期的な視点で研究を進めよ。

答弁 今後とも、費用対効果などを見きわめ地下空間の活用を図る。

企業内託児所の設置促進

質問 仕事と家庭の両立には育児をしながらか働ける環境が不可欠だ。多様な形態の企業内託児所を想定し、柔軟に対応できる助成制度を設け、企業内託児所の設置を促せ。

答弁 国や都の動向も見定め、支援の早期実施に向けて取り組む。

唐沢 としみ議員(社 民) まじづくりセンターの位置づけ

質問 区民主体のまじづくりには、地域分権の推進が必要だ。10月から始まるまじづくりセンターは、区民が主体的にまちの課題解決に当たる区民自治の支援拠点とせよ。

答弁 10月の名称変更を機に、区民との協働の機会を充実していく。

地区単位のまじづくり計画の策定

質問 地区の課題の解決には、区民と区職員が同じ認識のもとで取り組むことが必要だ。その指標となる、各地区の実情に応じた地区のまちづくり計画を策定せよ。

答弁 地区まちづくりを支援し、実情に応じた取り組みを進める。

区民の知恵を結集した本庁舎整備

質問 本庁舎は災害対策拠点としての役割を果たすなど、区民生活に深くかかわる重要な施設だ。本庁舎整備は拙速に進めることなく、幅広く区民参画を求めて取り組み。

答弁 幅広い意見のもとで、改めて区の今後の進め方を見定める。

重政 はるゆき議員(民 主) 区立小でのノロウイルス感染

質問 3月に松原小で集団発生したノロウイルスによる胃腸炎の感染源は、学校の対応の不備もあり、いまだに特定されていない。児童の健康管理に対する見解を示せ。

答弁 児童の健康管理や安全管理の徹底を心がけ再発防止に努める。

高齢者の実態把握調査

質問 区は見守りや支援が必要な高齢者を把握するため、区内の全高齢者が対象の調査を行う予定だ。調査時に支援が不要でも近い将来必要となる高齢者への対策を示せ。

答弁 見守りの必要性などを勘案し、適切なサービスにつなげる。

旭小周辺地区のまじづくり

質問 旭小周辺のまじづくりでは、本来は区が責任を持つべき道路拡幅の是非の判断を街づくり協議会にゆだねたため、地域住民が対立する事態が生じた。見解を示せ。

答弁 今後の地区計画などについては、住民の理解を得て取り組む。

藤井 まな議員(民 主) 今後の新型インフルエンザ対策

質問 今回発生した新型インフルエンザへの対応を今後を生かすことが大切だ。毒性の強弱の考慮や医療機関以外で働く人への対応なども含めた区独自の対策を講じよ。

答弁 病原性の強弱などを考慮した実践計画の策定などに取り組む。

支出超過の再発防止

質問 20年度の中学校給食費会計において、収入に対して約1600万円も支出が超過する事態が起きた。事務処理方法を改善し、目に見える形で再発防止に取り組め。

答弁 会計処理方法やチェック体制などについて検討を進めている。

地区のブランド化による観光施策

質問 今後の観光施策は、区全体ではなく地区ごとを考えるべきだ。世田谷公園などを中心とした三宿ブランドなど、地区をブランド化して区の新たな魅力を発信せよ。

答弁 区の資源や特色を生かした魅力ある観光施策を検討する。

村田 義則議員(共 産) 高齢者向け住宅の整備の推進

質問 高齢者の住宅不足が深刻な問題だ。健康で文化的な住生活の維持を条例で掲げた区として、特に低所得高齢者が困窮している実態をとらえ、住宅整備に取り組み。

答弁 公的住宅整備と民間市場活用施策を一体的に推進する。

高齢者向け住宅整備への区の認識

質問 高齢者向け住宅の深刻な不足を受け、区議会では会派を超えて住宅整備を再三要望してきたが、区は同じ答弁に終始している。区民の声をどう受けとめているのか。

答弁 議会からの要請を真摯に受けとめ、住まい確保に努めている。

せたがやの家の維持

質問 高齢者の住宅確保策の一つとしてせたがやの家が果たしてきた役割は大きい。厳しい経営状況にあるオーナーが多い。区はこの制度の維持に最大限努力せよ。

答弁 世田谷トラストまじづくりと協力し、最大限努力する。

桜井 純子議員(生 生) らぶらすの充実

質問 男女共同参画センターらぶらすの事業を充実させるには、登録団体同士の活発な情報交換が重要だ。登録団体のネットワーク化を図るための協議会を設置せよ。

答弁 ネットワークが形成されるような場の設定について検討する。

高校生世代の就労支援の充実

質問 景気が悪化する中、働かなければ就学が困難な高校生の増加が予想される。就学の継続なども含めた仕事の相談ができる窓口の設置など、区が幅広く支援せよ。

答弁 開設する若者就労支援センターを中心に事業展開を図る。

女性の就労支援の充実

質問 らぶらすでの女性の就労支援は相談業務が中心であり、就職に直結しにくいとの指摘がある。職業訓練や就労あっせんなど、関係部署が連携して支援を充実せよ。

答弁 多様なニーズに対応できるよう関係部署が連携し、支援する。

西村 じゅんや議員(民 主) 動画を活用した広報媒体への反響

質問 動画を活用した広報媒体として区が先駆的に放送を開始したインターネットチャンネルが、広く区民に知れ渡っているか疑問だ。区民からの反響について示せ。

答弁 アクセス数を記録しておらず具体的な反応は把握していない。

動画投稿サイトを利用した広報

質問 動画投稿サイトを利用した広報は、初期投資が安くシステム構築も不要であるなど利点が多い。他自治体の例を参考に、区も動画投稿サイトにチャンネルを設けよ。

答弁 より親しみやすく利用しやすい情報提供手法の研究を進める。

介護サービスの読み解き

質問 インターネット上で都が公表している介護サービスの情報は膨大でわかりにくい。区は必要な情報を抽出して提供するとした。区の取り組み状況を示せ。

答弁 作成した情報ガイドを6月中旬から広く区民に周知する。

杉田 光信議員(公 明) 入学式開催日の重複防止

質問 区立中と都立高の入学式の日程が同日のため、一方にしか参加できない保護者がいる。他県における日程の重複に配慮した工夫を都でも行うよう働きかけよ。

答弁 考慮すべき課題と認識し、区の実情を都にしっかりと伝える。

自動二輪車用駐車場の一層の整備

質問 自動車や自転車に比べ、自動二輪車用の駐車場は不足している。今後開設する駐車場に一定台数の駐車スペースを確保するなど、具体的な目標を立て整備を進めよ。

答弁 駐車場充足率70%を目標とする計画の達成に向けて取り組む。

小規模多機能型施設の整備促進

質問 小規模多機能型施設の整備が進まない原因は、施設となる住宅の確保が困難なことなどだ。使われるに値しない住宅を事業者に紹介するなど、整備促進に取り組め。

答弁 国や都の補助に加え区の上乗せ補助をPRし整備促進を図る。

岡本 のぶ子議員(公 明) 女性特有のがんの検診受診率向上

質問 女性特有のがんの早期発見には検診の受診率が不可欠だ。受診率向上に向け、国の補正予算による乳がんと子宮頸がんの検診無料クーポン券などを確実に周知せよ。

答弁 情報収集に努め、他自治体と連携し、実施に向けて検討する。

乳がん検診の助成対象年齢の拡大

質問 区のがん検診の助成対象年齢は40歳以上の偶数年齢だが、罹患率は30歳代から急増するとの報告がある。早期発見に向け、対象年齢を30歳代にまで引き下げよ。

答弁 国の指針や若い世代の罹患の動向などを踏まえ検討を続ける。

千歳通りの自転車走行環境の整備

質問 自転車道歩道を走る際にルールを守らない人が多く危険だ。千歳通りの歩道の段差解消工事に当たっては、歩行者の安全に配慮した自転車走行環境も整備せよ。

答弁 歩道を視覚的に分けるなど、より安全な通行環境を整備する。

中塚 さちよ議員(民 主)

体育指導委員の活動の支援

子どもがスポーツを楽しめる機会が提供が必要だ。地域のコーディネーター役を担う体育指導委員が活動しやすい環境の整備に取り組み。

答弁 体育指導委員協議会などと定期的な意見交換会を進めている。

受動喫煙防止条例の制定

受動喫煙による健康被害を防ぐには条例の制定が必要だ。制定に難航をきわめた他自治体の状況も踏まえ、まず検討会などを設置して関係者への意識啓発を図れ。

今後の医療政策

新型インフルエンザの発生で区に相談が殺到した。深刻な流行の可能性に備え、日ごろから相談できる機会の充実などにより、区民の医療知識の向上を図れ。

木下 泰之議員(無党派)

議長と副議長の就任期間の実態

前議長が次期議長長名で公式文書発行のためやり直された議長選挙の珍事は、議長たらい回しの慣例が原因。自治法任期4年を全うした議長と副議長の有無を示せ。

答弁 平成11年以前はおおむね1年、それ以降は2年ごとの就任だ。

外環道ジャンクションの構造問題

外環道地域課題検討会での東名ジャンクション地下化提案を無視する国と都の姿勢は約束違反。環境問題を懸念する区長は提案を重く受けとめているのか。

京王線地下化の構造形式

都は地下化による京王線地下化は困難と報道されたが、調布接続や笹塚駅地下化を設定すれば、確実に高架より地下が優位だ。都の与条件限定に異議を申し立てよ。

青空 じいじ議員(無所属)

区立中統合に向けた取り組み

若林中と山崎中、船橋中と希望丘中の統合に当たっては、過去の統合の成果を踏まえ、各校のよさを生かした教育環境を整備すべきだ。取り組みの状況を示せ。

答弁 学校や保護者、地域関係者による新校準備会を開催する。

学校改革への住民意見の反映

学校は、災害時に避難所となるなど地域住民の生活に直結する重要な施設だ。学校統合に合わせて学校を改築する際には、保護者や地域住民の意向を反映せよ。

学校改革中の代替施設

区は区立校を毎年2校ずつ改築する予定だ。コスト削減や子どもの安全などの観点から、学校統合で使わなくなる学校施設を改築中の学校の代替施設として使え。

風間 ゆたか議員(民 主)

幼保小連携教育の確立

幼稚園・保育園と小学校との連携については、全国でさまざまな取り組みが進んでいる。区も教科日本語を就学前から再構築し、独自の幼保小連携教育を確立せよ。

答弁 工夫を凝らし、教育内容の充実と幼保小の連携を深めていく。

保育室支援の強化

多くの保育待機児がいる今、保育室への入園を望む人も多いが、年々減少傾向にある。保育室の存続を求める区民の声を十分に受けとめ、保育室への支援を強化せよ。

新BOPと学童保育の体制強化

学童クラブの登録児童数が増加しており、新BOPでの受入体制の整備が急務だ。常勤指導員の増員や活動スペースの拡大など、課題の改善に早急に取り組み。

上杉 裕之議員(民 主)

多摩川流域の豪雨対策のあり方

豪雨の際の区の水防活動は、堤防などのハード面が前提だ。暫定堤防の必要性について、今までの洪水時の水位の実績や流量などの理論値を基に、区の考えを示せ。

答弁 19年の台風9号では避難勧告の発令と土のうで被害を防いだ。

地域での緊急医療体制の整備

区内の知的障害者が救急搬送され、病院で受け入れを拒否される事例があった。障害者が安心して暮らせるよう、地域での緊急医療体制の整備を都に働きかけよ。

地区まちづくりの基本理念

今後の地区まちづくりにおいては、基本理念を住民参加から住民自治に移行すべきだ。街づくり条例の改正に当たっては、基本理念として住民自治を盛り込め。

あべ 力也議員(区 民)

区の農業基盤強化への政策の転換

区内の農家や農地の減少を食い止めるには、農業基盤の強化が必要だ。従来のPR中心の守りの政策から、生産性向上に重点を置いた攻めの農業政策に転換せよ。

答弁 生産性の向上に向けた支援について積極的に取り組む。

裁判員制度に伴う区民負担の軽減

裁判員制度がスタートした。選ばれた区民の負担を軽減するため、裁判員活動に伴って発生する保育費や介護費などの支援について、区は無料化も含めて検討せよ。

農業の担い手不足解消への支援

農地法の改正により、農業の活性化が期待される。農地法の活性化が期待される。農地法を生かして、後継者不足に悩む農地所有者への有効な人的支援策を検討し、区内農業の発展につなげよ。

石川 征男議員(自 民)

区立新庁舎に対する区民の反応

5月に完成した区立新庁舎は利用しやすいとの声がある一方、表示物がわかりにくいとの意見も聞く。新庁舎に対する区民の反応や集会施設の利用状況を示せ。

答弁 好評だが要望や指摘もあり、今後の施設運営に生かしていく。

老老介護世帯の負担軽減

高齢者を介護している世帯の中でも、とりわけ老老介護世帯の負担ははかり知れず、支援は一刻を争う。家族の負担軽減のため、具体的な支援策を早急に展開せよ。

特養ホーム待機者の解消策

在宅介護が困難な世帯の最後のとりでを担う特養ホームの不足が深刻だ。短期間で整備できるよう、特養ホーム分園の設置などの柔軟な発想で待機者を解消せよ。

上川 あや議員(虹)

テール・フォー・ツールの導入を

健康メニューを食堂等で提供し、その売り上げの一部を途上国の学校給食費に寄附するテール・フォー・ツールの導入自治体がふえている。区で取り組めないか。

答弁 職員食堂のメニューなどを見直す際に、提案も視野に入れる。

国際貢献に積極的に取り組め

区が培ってきたノウハウや技術は途上国の支援に役立つものだ。海外の自治体職員を受け入れる自治体職員協力交流事業に参加するなど、国際貢献に取り組み。

近隣国や途上国とも国際交流を

アジア諸国との関係強化が重要になる中で、区の姉妹都市は欧米先進国の都市に限られている。国際理解教育推進の点からも、近隣国や途上国に交流の輪を広げよ。

桜井 稔議員(共 産)

桜3丁目の水路へのふたかけ

子どもの転落や蚊の発生を防ぐため、桜3丁目22と23番の水路にふたをかけるよう地元住民が区に再三要望しているが、未整備のままだ。早急に整備せよ。

答弁 施工に伴う諸課題を十分検討し、整備に向けて努力する。

介護施設の整備計画数の引き上げ

区が示した特養ホームやショートステイの整備計画では、不足している施設需要は到底満たせない。施設を定める切実な区民の声を受け、計画数を引き上げよ。

都営下馬団地の空地の活用

都営下馬団地建てかえに伴って生まれる空地は、区に不足する施設整備に活用すべきだ。住民が要望する介護施設や保育園、区営住宅などの設置を都に要請せよ。

小泉 たま子議員(政策)

外環道整備に伴う専門部署の設置

外環道整備に伴う周辺地域のまちづくりは、将来の世田谷を支える大規模な都市整備だ。鉄道の連続立体事業などと同様に、専門部署を設置して取り組み。

答弁 適時適切に対応できる担当職の設置を所管の部長に指示する。

区民ニーズに対応したトイレ調査

区は区内施設のトイレの実態調査を行う予定だが、対象は公共的施設の多機能トイレだけであり、極めて限定的だ。区民ニーズを考慮し、民間施設も対象とせよ。

出張所と福祉施設との連携

出張所の改築に伴う出張所とあんしんすこやかセンターの併設で、両施設の連携が容易となる。ほかの出張所やまちづくりセンターにおいても連携を図れ。

高久 則男議員(公 明)

障害児タイムケア事業の充実

障害児タイムケア事業は、障害のある中高生が放課後などに活動を通じて社会生活のルールを学べる有意義な事業だ。事業の拡充など、区独自の事業展開を図れ。

答弁 実施計画に基づき、事業拡充の具体化について検討する。

配慮を要する児童の放課後対策

配慮を要する児童の放課後対策は重要な課題だ。配慮を要する児童を新BOPで積極的に受け入れられるよう、職員の増員や対応力の向上などに取り組み。

歩道橋へのエレベーターの設置

ユニバーサルデザインを考慮した施設整備に取り組みべきだ。自転車やベビーカーの利用者への配慮や高齢化社会への対応として、歩道橋にエレベーターを設置せよ。

島山 晋一議員(自 民)

小田急線駅前広場整備の検討状況

東北沢駅と世田谷代田駅の駅前広場整備について、区の整備計画に地域住民から提案があったにもかかわらず、区は一向に整備案を示さない。検討状況を示せ。

答弁 整備素案を示して意見を聞き、21年度中に計画をまとめた。

小田急線沿線まちづくりの推進

東北沢駅と世田谷代田駅の駅周辺整備は、放置自転車対策や緑化の推進など、地域が抱える課題を解決する絶好の機会だ。駅周辺まちづくりをどう進めるのか。

代沢地域の消火活動困難度の改善

区が作成した復興街づくり読本の震災時の消火活動の困難度では、代沢5丁目だけが危険度が最も高いランク5だ。危険度が下がるよう危険要因の改善に努めよ。

# 第3回定例会では、決算を審査します。会期は9月中旬から10月中旬の予定です。

## 議会日誌

閉会中に開催された委員会  
6月1日(月) 議運

### 会期中の主な会議日程

6月9日(火) 本会議 (代表質問)、議運  
10日(水) 本会議 (代表質問、一般質問)、議運  
11日(木) 本会議 (一般質問、議案の付託など)  
12日(金) 企画、区民、文教  
15日(月) 福祉、都市  
16日(火) 分権、オウム、清掃、交通  
18日(木) 本会議 (議案の議決、請願の付託など)、議運

### 委員会名称

企画 = 企画総務委員会 区民 = 区民生活委員会  
福祉 = 福祉保健委員会 都市 = 都市整備委員会  
文教 = 文教委員会 議運 = 議会運営委員会  
分権 = 地方分権・庁舎問題等対策委員会  
オウム = オウム問題・災害・防犯等対策委員会  
清掃 = 清掃・リサイクル対策委員会  
交通 = 公共交通機関対策等委員会

賛成多数 賛成 議員 公明 民主 共産 生 政策 社 民 区 民 虹 世 田 谷 無 所 属 反 対 無 党 派	八谷 直治 (新任)
施設名称	指定管理者
下高井戸西自 転車等駐車場	株式会社アイビー メンテナンス

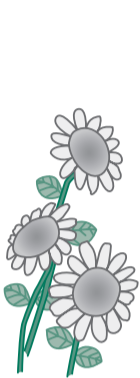
● 監査委員選任の同意 1件

● 指定管理者の指定 (全員賛成) 1件

○ 治大夫橋架替工事 (全員賛成)  
相手方 株式会社エヌシー東京支店  
契約金額 二億一三九万円  
橋長 7.1m 幅員 11.1×14.0m  
工事概要 上部工、橋台工、仮設工、その他

○ 補助第125号線整備工事(その1)  
賛成多数 賛成 議員 公明 民主 共産 生 政策  
社 民 区 民 虹 世 田 谷 無 所 属  
反 対 無 党 派  
相手方 豊田・新東洋建設共同企業体  
契約金額 四億一九八万五千円  
工事概要 トンネル設置工、地盤改良工、迂回路設置工

○ 議員提出議案 1件  
行政委員会委員の報酬についての決議  
賛成多数 賛成 議員 公明 民主 共産 生 政策  
社 民 区 民 虹 世 田 谷 無 所 属  
反 対 無 党 派  
後期高齢者医療広域連合議員候補者の推薦 (全員賛成) 1件  
稲垣まさよし議員(民主)を東京都後期高齢者医療広域連合選挙長あてに推薦する。



○ 特別養護老人ホーム隣接地における墓地建設計画に関する請願  
◆ 都市整備委員会に付託 2件  
○ 二子玉川南地区暫定堤防工事について区から住民への説明を求める陳情  
○ 船橋の中低層住宅環境を破壊する高層巨大マンション計画の根本的見直しを求めることの陳情

● 福祉保健委員会に付託 2件  
○ 母子生活支援施設かわだに関する陳情  
● 福祉保健委員会に付託 2件  
○ 母子生活支援施設かわだに関する陳情  
● 福祉保健委員会に付託 2件  
○ 母子生活支援施設かわだに関する陳情

## 請願

皆さんから新しく出された請願・陳情をお知らせします。

● 議員提出議案 1件  
行政委員会委員の報酬についての決議  
賛成多数 賛成 議員 公明 民主 共産 生 政策  
社 民 区 民 虹 世 田 谷 無 所 属  
反 対 無 党 派  
後期高齢者医療広域連合議員候補者の推薦 (全員賛成) 1件  
稲垣まさよし議員(民主)を東京都後期高齢者医療広域連合選挙長あてに推薦する。

## 区議会ホームページをご利用ください

世田谷区議会では、より多くの皆さんに区議会の活動を知っていただくために、議会広報の充実に取り組んでいます。ホームページでは本会議と予算・決算特別委員会の生中継や録画中継も行っておりますので、ぜひご利用ください。

### ～主な掲載内容～

- 本会議、予算・決算特別委員会の生中継と録画中継
- 会議録の閲覧や検索
- 区議会議員の紹介
- 会議の日程
- 定例会・臨時会の結果
- 区議会だより (PDF版)
- 区議会のあらし (会議の進め方や請願の書き方など)
- 政務調査費収支報告 など



※画面はイメージです

### 《アクセス方法》

区議会ホームページ

<http://www.city.setagaya.tokyo.jp/kugikai/>

または、区のホームページの **区議会** からアクセスしてください。

## 決議

行政委員会委員の報酬についての決議  
世田谷区において行政委員会委員の報酬については、「世田谷区特別報酬等審議会」での議論を参考に、報酬額を改定してきた経緯がある。  
従って職務・職責及び勤務実態におよぶ議論が不十分なまま今日に至っている。  
よって、行政委員会委員の報酬について、議会、区民への説明責任が必ずしも十分とは言えない現状がある。

行政委員会委員の報酬は地方自治法において、その勤務日数に応じて支給する原則となっているが、定例の会議以外の仕事があることは認識されている。一方で、定例の会議の出欠にかかわらず報酬が全額支払われる制度については疑問が投げかけられている。  
以上のことを踏まえ、世田谷区議会は、行政委員会委員の報酬について、第三者機関の調査・意見を付して、区長の行政委員会委員の報酬について判断を求めるものである。  
以上、決議する。  
平成21年6月11日

### 議員の辞職

栗林のり子議員(公明)は、6月30日付で区議会議員を辞職しました。この結果、区議会の党派等の構成は次のとおりになりました。

自由民主党世田谷区議団	13人
公明党世田谷区議団	10人
世田谷区議会民主党	9人
日本共産党世田谷区議団	5人
生活者ネットワーク世田谷区議団	4人
せたがや政策会議	3人
社会民主党世田谷区議団	2人
無党派市民	1人
区民の会	1人
レインボー世田谷	1人
世田谷無所属の会	1人
無所属	1人
合 計	51人

(欠員 1人)

## 編集後記

○ 今定例会では、36名の議員が、新型インフルエンザへの対応や子育て支援の充実など、区政のさまざまな課題について質問を行いました。

○ 区議会定例会は、2、6、9、11月の年4回開かれます。なお、本会議や予算・決算特別委員会の模様を、区役所第1、3庁舎、総合支所、文化生活情報センター内の市民活動支援コーナーで生中継しています。ぜひご覧ください。

○ 区議会だよりのテーパー版を発行しています。視覚障害のある方などで希望される方には定期的にお送りしていますので、お知り合いでご希望の方がいらっしゃいましたら、ご連絡ください。また、区立図書館では過去1年以内発行された区議会だよりのテーパー版を貸し出しています。ぜひご利用ください。

○ お問い合わせやお気づきの点がありましたら、区議会事務局調査係までお寄せください。  
TEL (五四三三) 二七七九  
FAX (五四三三) 三〇三〇



本紙に掲載された質問、答弁などの詳しい内容についてお知りになりたい方は、会議録(8月下旬発行予定)をごらんください。なお、会議録は、区立図書館、区政情報センター、総合支所、出張所などに備えてあります。また、ホームページでもごらんいただけます。



たまがわ花火大会(8月22日(土)に開催予定)

